

# 江教組ニュース

2016  
No. 10

都教組江戸川支部  
TEL 3651-3153  
FAX 3655-3521



**安保法成立1年  
廃止、諦めない…各地で抗議集会  
国会前には降りしきる雨の中23,000人**

1人区で11選挙区で勝利した力を継続発展させ、次期総選挙での勝利、南スーダンでの「駆けつけ警護」実施許さない闘い、沖縄での安倍政権の暴挙阻止等、確認しました。

## 踏みとどまらせなければなりません!!

稲田朋美防衛相は、南スーダンの国連平和維持活動(PKO)に派遣予定の陸上自衛隊部隊に「駆けつけ警護」などの新任務付与ができるか最終判断するため、10月下旬にも部隊が国内で実施中の訓練を視察する方針を固めた。政府関係者が27日明らかにした。稲田氏は同日の衆院本会議で、自身の南スーダン訪問にも再び意欲を示した。(共同)



「参院選に続き、次期衆院選で野党四党が候補を統一すると仮定し、前回衆院選で四党候補がそれぞれ獲得した得票数を単純に足したところ、九十一選挙区を制する計算になる。自公両党の勝利は計百八十五選挙区(東京新聞)さらなる、「市民運動」で逆転を可能にし、南スーダンの危機、TPP、改憲、安倍政権の暴走をストップさせましょう。日本の危機を根本から絶つ闘いです。

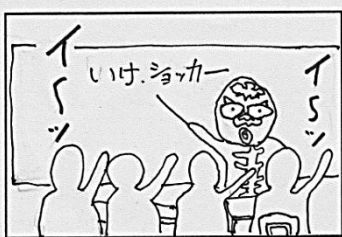
私たちはどこまで階段を登っていますか?

戦争  
→ 明文改憲 = 自民党改憲案  
→ 安保法 → 戦争法 (集団的自衛権)  
→ 監禁法、マイナンバー  
→ 消費税増税  
→ 武器輸出解禁  
→ 道徳の教科化  
→ 特定秘密保護法

毎月19日行動  
「戦争反対」の声をあげましょう!

国会正門前 場所は → [sogakari.com](http://sogakari.com)  
総がかり行動 実行委員会

ワルイヤ物な話だろ ケイ子ロウ



## 書記局通信

### I. 生活改善につながる大幅賃上げ勧告を!

8/8に人事院は、例月給で官民格差「0.17%、708円」、一時金0.1月の引上げを勧告しました。3年連続のベア勧告はたかひの反映でもあります。2015年度の消費者物価指数は対前年比で0.8%上昇しているため、実質賃金は低下になります。また、無年金期間が長期化するなか、再任用、非常勤の給与水準等の見直しも大きな課題となります。

10月に予定されている東京都人事委員会勧告が、この人事院勧告に追随することなく、賃金・労働条件改善につながることを求めた署名です。

※都労連・人事委員会要請全教職員署名、現在、955筆、1,000筆を目指します。



### II. 人事異動

中間面接で、希望をしっかりと伝え、校長の意向を確認することが、重要!!

1. 本部作成の「2017年度人事異動要求実現に向けた分会活動の手引き」をつかって異動について学習しましょう。

2. 校長との中間面接で、自分の条件や希望をしっかりと伝えることが重要です。そして、校長の意向を確認します。不誠実な対応等あれば、支部または本部の人事異動電話相談まで連絡します。掲示できる分会は、本部の人事異動電話相談ポスターを掲示してください。

3. ピンクカードの提出は、10/14(金)支部×切りです。

**武力で平和は守れません！人類を絶滅できる武器を持ってしまった今、本気で「平和」を考えなくてはなりません！！**



**原水禁大会(広島)に参加された中森さんから報告です。**

清新第二中学校の中森です。江戸川区教職員組合の代表として、広島で行われた原水爆禁止世界大会に参加させていただきました。8月4日～6日の3日間で原水爆禁止世界大会総会・分科会、6日に行われた平和記念式典に参加しました。印象に残った取り組みなどを簡単に報告させていただきます。

**8月4日木曜日には、原水爆禁止世界大会の開会総会が行われました。26か国89名の海外代表を含む約4500名が参加し、東京からは約650名、江戸川区からは11名が参加しました。**開会にあたって広島市長のメッセージが紹介され、核兵器の廃絶を呼びかけました。開会総会の最後には、**元国連軍縮担当上級代表のセルジオ・ドゥアルテさんがスピーチを行い、原水爆禁止世界大会の意義と運動に対する感謝を述べました。**

**8月5日金曜日は、広島各地で分科会が行われ、私は、「戦争法を廃止し、憲法生きる日本を」と題した分科会に参加しました。**

昨年、大規模なデモが起きるなど世論の反対も多い中で可決された安全保障法案ですが、これを廃止するための選挙協力についての分析が報告されました。報告は、**参院選の一人区での野党選挙協力について、一定の成果を認め、現状のまま次回の参院選に臨めば改憲勢力3分の2を維持することは困難という内容でした。**また、憲法改正を行うにあたっては、現状さまざまなハードルがあり、天皇の生前退位に対応することも含めると**次回国政選挙までの数年で改正を進めることは厳しいという分析でした。**参加者は50代以上の方がほとんどでしたが、20代・30代の方の姿も見られ、この法案に対する関心の高さがうかがえました。

8月6日土曜日は、平和記念公園で行われた**「広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式」**に参加しました。猛暑の中、関係者による献花が行われ、原爆投下時刻の8時15分には黙とうが行われました。続いて、広島市長による「平和宣言」が行われました。**市長は、「絶対悪」である核兵器廃絶を強く訴え、5月にオバマ大統領が広島を訪問したことにふれながら、安部首相に対し、核兵器廃絶へのリーダーシップを発揮するよう述べました。**こども代表の「平和への誓い」、内閣総理大臣、広島県知事、国際連合事務総長のあいさつの後、閉式となりました。

平和祈念式の後、原水爆禁止世界大会の閉会総会も行われました。「広島からのよびかけ」と題した決議では、核兵器のない世界を実現するためにも、一人ひとりの市民が行動し、民主主義の流れを発展させることを呼びかけました。「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」に取り組むことや、被爆の実相を学び、伝えるなど、私たち一般市民でも可能な活動が示され、**「ノーモア・ヒロシマ ノーモア・ナガサキ ノーモア・ヒバクシャ ノーモア・ウォー」のスローガンのもとで「非核平和の日本」と「核兵器のない世界」の実現を呼びかけました。**

**ヒロシマ・ナガサキを学ぶ  
—平和学習にどう取り組むか—  
(江教組 秋の平和学習)**



・親江会(江戸川区内の被爆者団体)のかたから、学校で実際に行った「平和教育」を紹介していただき、これからの平和学習を考えます。